

研究奨励賞	繋がる先に—電波と光赤外線を用いた遠方銀河の観測的研究	藤本征史	141
天文教育普及賞	宇宙と子どもたち	的川泰宣	152
特集：アルマ望遠鏡10周年 (2)			
	極めて若い低質量原始星天体の激しい活動性	大小田結貴	159
	アルマ望遠鏡が明らかにしたSSA22領域における銀河形成の新描像	梅畑豪紀	168
	アルマ望遠鏡による宇宙再電離期の銀河の [OIII] 88 μm 輝線観測	橋本拓也	175
シリーズ：天文学者たちの昭和			
	佐藤文隆氏ロングインタビュー		
	第12回：降ってくるものは拾っておけ	高橋慶太郎	183
シリーズ：アカデミアの外を知る			
	第3回：「科学を伝える」という選択肢	栗田敦基	201
雑報			
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>The Golden Age of Cataclysmic Variables and Related Objects VI</i>	反保雄介	206
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>26th International Conference on Particle Physics and Cosmology (COSMO'23)</i>	石川慶太郎	208
月報だより			210

【表紙画像説明】

おおかみ座にある IRAS 15398-3359 は非常に若い低質量原始星として知られ、最初期段階を調べる上でユニークな天体である。本研究では、天体周り数 1000 au スケールにおける観測が行われ、原始星の左下(南東)にアーク状の構造が新たに見つかった。これは、 H_2CO 分子(表紙画像)の他に衝撃波トレーサーとして知られる SO , SiO , CH_3OH 分子輝線で確認された。化学的特徴と速度構造から、既に知られているアウトフロー(北東-南西)と全く別の方向に噴いたアウトフローの痕跡が残されていることがわかった。本研究成果は、低質量原始星の最初期形成過程が考えられていたよりも激しく活動的であることを示す。